

経営比較分析表（令和2年度決算）

青森県おいらせ町 国民健康保険おいらせ病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	7	-	ド訓	救
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
25,288	3,817	第2種該当	-	10：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

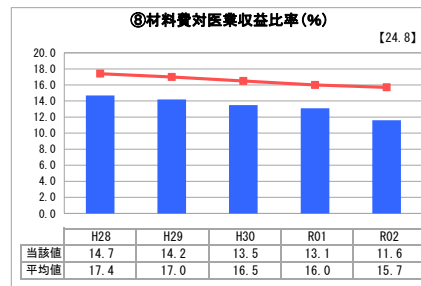
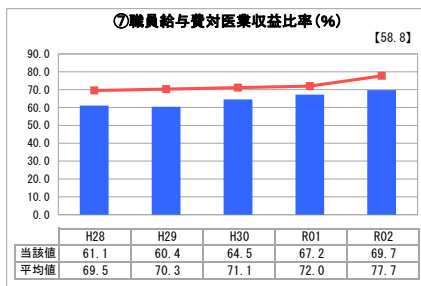
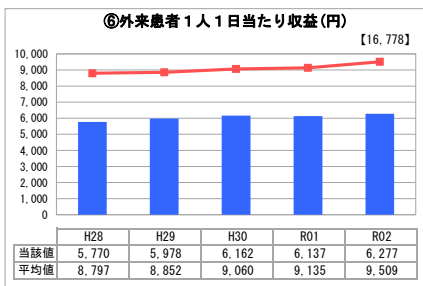
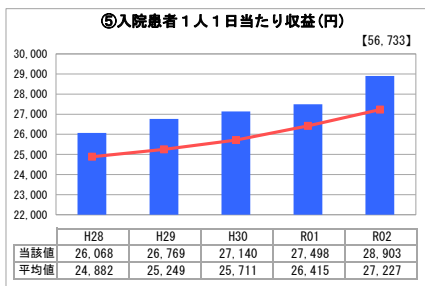
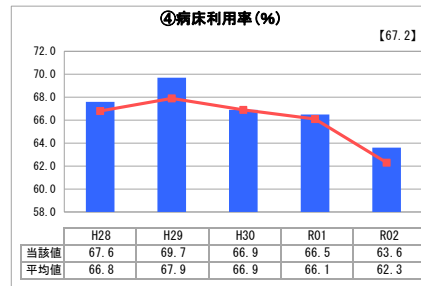
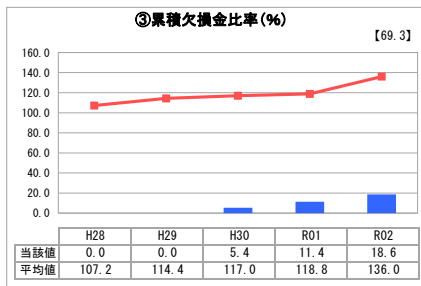
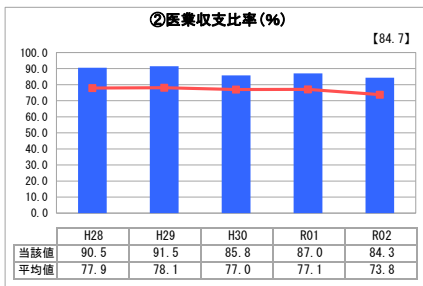
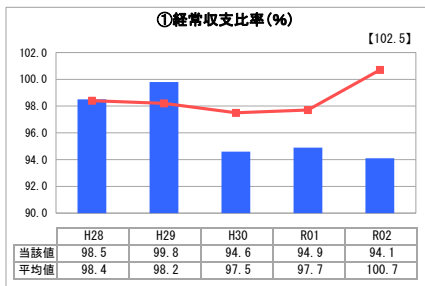
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
78	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	78
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
73	-	73

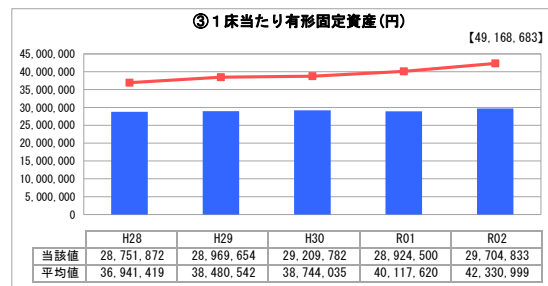
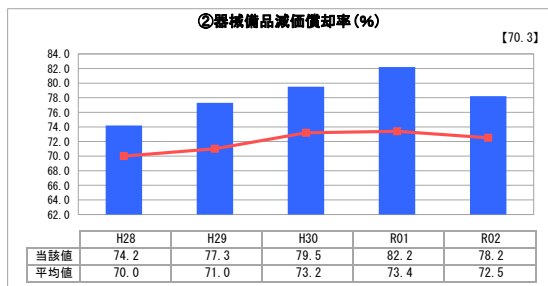
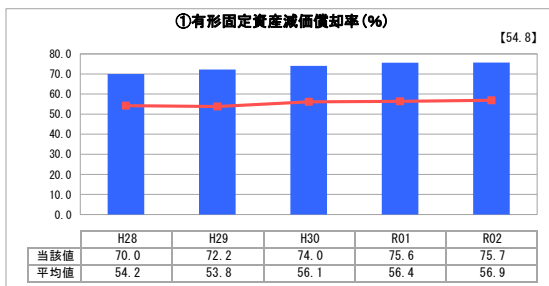
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

少子高齢化と在宅医療ニーズの増加により、高齢者医療を中心とする地域病院としての役割を担うべく、町内の医療機関及び近隣の介護・福祉施設と連携して医療を進めている。また、眼科を八戸市立市民病院の協力により令和3年2月に設置できた。
令和2年2月からは新型コロナウイルス感染症への対応として帰国者・接触者外来を設置し、10月からは診療検査医療機関として、地域の発熱患者の診察を行っている。また、地域の新型コロナウイルスの感染拡大防止のため保健所依頼の検体採取を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度も、経常収支比率が95%未満となり、累積欠損金も拡大した。
これは、新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えなどが患者数に影響したためである。それに比例し入院患者も減少し、入院利用率も過去最低となった。
類似病院平均値と比較して高い入院患者1人1日当たり収益の水準を保ちつつ、地域に必要とされる新しい診療科を設け、外来患者数の増に努めることで、外来収益を確保していく。

2. 老朽化の状況について

建物は建築から40年経過しているが、大規模リフォームを2回実施し、耐久性もあるため、耐用年数までは補修で対応する。
現病院は青森県太平洋想定地震の浸水区域にあり、近い将来には移転建替えが必要となる。
また、器械備品においては精査し、除却を行っている。

全体総括

医療圏の中核病院等との連携体制の強化により、地域包括ケア病床とのバランスを図り、急性期から一部回復期への病床機能変更を進め、病床利用率の安定化と効率的かつ効果的な医療体制の構築を図る。

また、在宅復帰した患者の訪問診療体制の強化、地域のニーズに応えた診療科を強化しながら、外来患者数の増を図り、収益を確保していく。

新型コロナウイルス感染症に対しても、発熱患者への対応やワクチン接種など自治体病院としての役割を果たしていく。